



KAMO

第135号

2014年(平成26年)
12月16日 発行

*ハペー^ジは定時制のページです。
■発行者/県立加茂高校PTA ■編集/広報部

加茂高だより

加茂高春秋

「自分らしさ」

私の一番好きな時間、それはボーッと考え方をする時です。子ども們の私も河原を散歩がてら、いろいろと空想をしたものです。そんな経験を多くしましたから、人から見たらちょっと変わった人間かもしれません

が、まあ、それも個性ですよね。今の子ども達は予定が一杯です。そして、親も先生も「頑張れ、頑張れ」と言われるでしょう。それも必要です。けれど時にはゆつたりと、自分自身を見つめ直す、そんな時間を作つてもらえたらい

とあります。時々は軌道修正しないと、進みたい方向に行けないこともありますものね。

前回のNHKの連ドラ「花子とアン」でも、花子が想像の翼を広げるという素敵なかいがありました。私はそんな花子が大好きでした。

あんな風に良いことをイメージして、皆と同じではない自分しさを以て、どんどん可能性を広げていった花子、心の持ちようで物事が百八十度変わります。

子ども達に夢を与えるられる素敵な大人が増えたら、世の中はより良い方向に向かっていくのです:私は常々そう考えていました。自分らしさを大切に、一歩一歩進んでください。

(副会長
若尾 修子)



特別賞 1-7

特別賞 2-1

特別賞 2-4

特別賞 3-9

活躍するボート部

★世界ジュニア選手権
ハンブルク(ドイツ)(8月)

棚橋秀美選手

日本代表として出場



レース中の棚橋選手(右から2人目)
手前ロシアクルーに勝利!

[成績結果]

★全国高校選抜大会3／23

(静岡県天竜ボート場)

女子舵手付きクオドルプル

(今井奏瑠、井川奈菜、棚橋

秀美、長谷川珠緒、片山文香)
が優勝。昨年に続き2連覇を達成しました。

★全国高校総体8／3

(山梨県原河口湖漕艇場)

女子舵手付きクオドルプル

(今井奏瑠、井川奈菜、片山

文香、長谷川珠緒、北村梨愛)
が3分38秒29で優勝し、2連

覇を達成しました。決勝では

約1秒差をつけてゴーリー

ルし、春の全国選抜大

会に続く2冠を手にしました。



インターハイ優勝!

★長崎国体10／21

(長崎県形上湾ボート場)

少年女子舵手付きクオドル

プル(岐阜選抜)が優勝し、昨

年の東京国体に続く2連覇を

果たしました。今大会の岐阜

選抜チームは加茂高校(今井

奏瑠、井川奈菜、棚橋秀美、

片山文香)と恵那高校(成瀬歩

美)の布陣で決勝に臨み、後

半のスパートでリードを広げ

圧勝しました。

春の全国選抜・
全国高校総体・
長崎国体

2年連続3冠達成

ボート部は部員62名(三年生含)で活動。主な活動場所は飛騨川・木曽川の合流地点(小山)で、実践練習、筋トレ、エルゴなど厳しいトレーニングに励んでいます。

快挙!

★女子舵手付きクオドルプルの活躍

★女子舵手付きクオドルプルの活躍

世界ジュニア選手権 に出場して

三年 棚橋 秀美



私は世界ジュニア選手権に出場して、世界で戦うことの厳しさを感じました。

私は選抜された日本代表チームは、日本国内で三回にわたり合宿を重ね、ドイツへ向かいました。

合宿では日頃の練習よりもハードで、より時間を掛けたと思っていました。しかし、実際に大会が始まるとき、日本のチームは海外の選手の体力の大きさ、パワー、技術力、精神力に圧倒されてしまい、大きな差を感じました。そんな海外の選手と一緒にとりをしてみると、私たちと比べてとても自立していると感じました。世界で戦うには技術的なことも必要ですが、自分がどれだけ自立して練習に取り組めるかが大切だと気付きました。

最後になりますが、今回私がこのような遠征ができたのも、家族や仲間や学校の先生方の支えがあつたからです。

ありがとうございます。この経験から、私自身の成長につなげています。

「君たちに伝えたい 幸せの法則」

一年学年委員長 奥田 重信

十月十六日(木)、

木下晴弘先生に、

幸せの法則について講演をいただきました。



カーネル・サンダースや本田宗一郎、片腕の大リーガーの話等を聞き、学歴だけではなく他人が喜ぶことを想い、与え続けることなどが幸運な近道であることをあきらめないでなく他の人が喜ぶことでも重要であることが、心に響いたと思います。

今、何のために勉強しているのですか。受験のため・自分のため・それだけでは一流大学がゴールになってしまいます。勉強は将来あなたが、自分だけでなく周りの人たちに喜んでもらえることを具現化するためにしてい

ます。だからいつ勉強は他の人のためにする」という言葉が心に残りました。他の人がわからない新しいことを身につけてその人のためには何かをしてあげるというのが、真的勉強の在り方なのだと感じました。だからいつ勉強は他の人のためには何かをしてあげるというのが、真的勉強の在り方なのだと感じました。だからいつ勉強をする」という言葉が心に残りました。他の人がわからない新しいことを身につけてその人のためには何かをしてあげるというのが、真的勉強の在り方なのだと感じました。だからいつ勉強をする」という言葉が心に残りました。他の人がわからない新しいことを身につけてその人のためには何かをしてあげるというのが、真的勉強の在り方なのだと感じました。だからいつ勉強をする」という言葉が心に残りました。他の人がわからない新しいことを身につけてその人のためには何かをしてあげると

私はもともと法則とかいう言葉が好きではありません。これさえすれば成功できるなんて信じません。でも今日から意識をしてみようと思っています。意識をすることが大切です。

私は先生の引き寄せられるような話

し方と内容ですごく集中して聴いていました。「人に与えたものは必ず自分に返ってくる」という言葉を信じて、自分がされたいと思うことはまず自分が他人にしようと思いました。

人生で豊かさというものを得る

ことが大切だと思いました。

保健講話

『君たちに伝えたい幸せの法則』

講師：株アビリティトレーニング 木下 晴弘 先生

● 今日の木下先生の話を聞いて、これから生きていく上での勇気をもらいました。成功した人はすべてから努力を継続し、あきらめなかつたことに心打られました。

● 生徒の感想

● 木下先生の話を聞いて、この経験から、私の成長につなげています。

● 木下先生の話を聞いて、この絏験から、私の成長につなげています。

</div

進路ガイダンスを終えて

三年学年委員長 渡邊 美紀

昨年度に引き続き一年生を対象として行われた進路ガイダンス。本年度も公務員・歯科衛生士・美容師・スポーツインストラクター・会社経営者・CM製作者等々、十五人の方々に参加していただき、生徒達が事前に興味のある職業を一つ選択し講話を聞きました。

講師の方からは、自分がなぜ今の職業を選んだのか、仕事をする上でどんな楽しさや苦労があるのかを、時には熱く、時には笑いを交えながら語つていただきました。中にはスライドなど映像を使って説明してくださる方や、仕事をする上で、どんなことを大切にしているかを大きな紙に書いたり、板書されたりとわざりやすい工夫をしてくださいました。



『生徒の感想』

●木村さんは、出張美容室の仕事について、誇りを持ったて話をしました。自分たちの仕事に誇りを持つことで、抱きました。私も自分の仕事に誇りを持てる人をとてもかつこいいと思ったし、憧れになりました。自分なりの目標を胸に本気で一生懸命になれる大人になりました。

●私は、お菓子製造会社の若尾さんが、売り上げの一部で貧しい国々の支援をしていると聞いて、本当に人間として尊敬に値する人だと思いました。好きな言葉を紹介した中に、「幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになる。」という言葉が一番印象に残りました。日常にもつながると思います。優しくすると優しさが返ってくるなど、生きていく上で重要なことを学びました。

●横田さんの凄さは、本人の農業への想いの強さがあつてこそだと感じました。今夢は日本一



●仕事には死事、私事、仕事、志事などがあつて、自分の努力、気持ち次第でお客様に喜んでもらえるか、やりがいのある楽しい仕事ができるかが決まると思いました。「最初は難しいけれど、自分なりの目標を胸に持つて前向きに」という言葉は仕事だけではなく、普段の生活でもいえると思いました。

●もし、銀行がなかつたらというビデオを見て、銀行の中の経済を動かすためになくてはならない機能がたくさんあるし、生活の中でも銀行は深く関わっているということがわかりました。

●CM製作には多くの日数や人が関わっており、数十秒の世界で客の希望に合わせて、見ている人にメッセージを伝えることは大変だなと思いました。今日は貴重な話を聞いて大変興味がわきました。



PTAバザーに参加して

副会長 高木いづみ

広報委員 高木美由紀

加茂高祭を取材して

今日の講座が生徒達の進路を決めていく上で、将来の夢を描く上で、少しでも参考になつてくれれば嬉しいと思します。

校の担任の言葉の「自分の夢に数字を当てはめる」を実行していくことが特に嬉しいし、夢を持つきました。

仕事には死事、私事、仕事、志事などがあつて、自分の努力、気持ち次第でお客様に喜んでもらえるか、やりがいのある楽しい仕事ができるかが決まると思いました。

●「おいしく！」とか「（色）かわいい！」と喜んでいたくことで、提供する側としても楽し味とストロベリー味を用意を提供しました。

今年度の加茂高祭のPTAバザーでは、ヨーグルトドリンクとサイダー（いずれもマンゴー味とストロベリー味を用意）を提供しました。

「おいしく！」とか「（色）かわいい！」と喜んでいたくことで、提供する側としても楽し味とストロベリー味を用意を提供しました。

また、加茂高祭の活気ある雰囲気を感じながらのバザーは、催す側にとっても充実したよい一日となりました。

●私は、お菓子製造会社の若尾さんが、売り上げの一部で貧しい国々の支援をしていると聞いて、本当に人間として尊敬に値する人だと思いました。好きな言葉を紹介した中に、「幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになる。」という言葉が一番印象に残りました。日常にもつながると思います。優しくすると優しさが返ってくるなどを学びました。

●給水ボランティア活動に参加して

副会長 田原 芳子

広報委員 吉川美津子

秋の一大イベント、「加茂高祭」が今年も行われました。二日間に渡つての文化祭は、生徒達の丹精込められた展示や舞台、発表などが行われ、どれも大好評でした。

最終日の体育祭は、雨天のため週明けに行われました。競技が始まるとき、午後からは見せ場の各団対抗応援合戦が繰り広げられ、仲間を懸命に応援する姿、頑張っている生徒一人一人の顔が印象的でした。



今年は雨で二日間延期になつての体育祭でした。平日にもかわらず、多くの保護者の方が参加されていました。皆さん、手際よくコップの準備や保冷車から飲み物を出したり、冷やしたりと、とても熱心に活動されていました。

給水テントには競技をやりきつた子ども達のすがすがしい姿が飛び込んでいます。仲間達と共に過ごした時間は高校生活の大変なページになつていくのだろうと思いました。

●CM製作には多くの日数や人が関わっており、数十秒の世界で客の希望に合わせて、見ている人にメッセージを伝えることは大変だなと思いました。今日は貴重な話を聞いて大変興味がわきました。

●そんな子ども達の姿を間近で感じられるボランティア活動でした。

平日にもかかわらず、大勢の方々の声援を受けて「加茂高祭」の三日間を完全燃焼することができたようでした。

今年も開催されました。

一年生の展示はどのクラスも工夫を凝らしていて、見応えのあるものばかりでした。二年生のパフォーマンスは見ている人も一緒に楽しめて、とても盛り上がっていました。三年生の演劇は迫真の演技に驚いたり、ストーリーに引き込まれたり、素晴らしいものばかりでした。

また、加茂高祭の



加茂高大賞	3-2	ステージ発表
優秀賞	3-5	ステージ発表
	3-7	ステージ発表
特別賞	1-7	モザイクアート
	2-1	パフォーマンス
	2-4	パフォーマンス
	3-9	ステージ発表
のぼり賞	のぼり大賞 優秀賞	3-5 3-1

High School Festival

高祭 完美」

03・04・08



KAMO





The 8th KAMO Hi

加茂 「有終」 2014 09/

体育祭 成績結果

	1位	2位	3位	4位
総合	東部	北部	西部	南部
競技	北部・東部		西部	南部
応援	南部	東部	北部	西部
HR 対抗 リレー	1年 2年 3年	6組 5組 1組	8組 2組 4組	7組 4組 2組



サイエンス
パートナーシップ

プログラム

二年生テーマ
「エネルギーについて
考え方」

【核融合科学研究所研修】

SPPとは：大学や博物館等の研究者と連携して、科学技術、理科、数学に関する観察、実験、実習等の体験的・問題解決的な学習活動を支援する事業です。

一年生テーマ

「岐阜の自然を学び、
生物多様性を考える」

【乗鞍岳夏研修】

七月十五日(火)、理数科一年生が岐阜県博物館の船戸先生を講師に、乗鞍岳の植生の移り変わり、高山植物や動物について研修を行いました。

《生徒の感想》

- 僕はこの研修で、菓子袋とベットボトルで気圧の変化を見ました。菓子袋がパンパンに膨らんでいて気圧の違いがよくわかり、それが高い山に棲む生物との差にもなることがわかりました。
- 乗鞍岳に行つてみて、背丈の低い植物ばかりだったので、思ったより遠くまで見渡すことができて良かった。人の手がつけられない自然のままがあつて、見たことがないものが多くあります、今後も守っていくべきだと思った。
- 最初の講座は難しかったですが、今のエネルギーが未だ足りないこと、再生可能なエネルギーだけでは発電量が足りないこと、太陽はすごいということ、いろいろなことを知りました。未来のためには「難しかった」の一言では済まない。ものだったけれど、細かい部品とかはかなかって面白かった。見学した装置は大きなものだいだらうなあってワクワクした。
- 光の部分が見えたり、数値で色の差がわかった。面白かった。細かい部品とかはかなり多いんだろうなあってワクワクした。



研究所において、二年生が講義、実験、実習等の体験学習および施設見学を行いました。

◆事前講義(全体研修)

・『プラズマと核融合』

- 講師：中野 治久助教

◆グレープ毎に分かれ研究

- 講師：加藤 太治准教授
- 後藤 基志准教授
- ・『環境放射線測定』
- 講師：河野 孝央准教授
- ・『マイクロ波加熱』
- 講師：高山 定次准教授
- 本島 嶽助教

・『プラズマと光』

- 講師：河野 太治准教授
- 後藤 基志准教授

十一月十日(月)、岐阜県ふるさと教育週間に合わせて、五・六限の授業と一・二年生理数科出前講座(六・七限)、ふるさとに関する講演会(七限LHR)の出前講座を保護者や地域の皆様に公開しました。

◆一・二年生理数科出前講座

(六・七限連続)

◆宇宙へ

(六・七限連続)

◆ロケット開発の現場から

- 講師：JAXA 岡田 匠史先生



ふるさと教育週間

芸術鑑賞会

学校寄席

十月三十日(木)午後より、本校体育館において、学校寄席(紙芝居落語)が行われました。

工劇落語が行われました。

◆色物人気No.1の『紙切り』

と『落語』が合体。日本が誇る一人芸、落語。その言葉を小南

治と二葉が、嘶とハサミで切る。

兄弟ならではの絶妙な掛け合い

と、スクリーンに投影された奇

想天外の映像、そのかつてない

発想のライブパフォーマンスは、

嘶のイメージを膨らませ初めて

落語に触れる方にも親しみやす

く、伝統芸能の新たな可能性を

見いだします。

◆プログラム

第一部・寄席芸能

一、上方落語

桂かい枝

二、色物

林家二楽

三、紙切り

桂小南治

春風亭笑松

四、寄席入門

林家二樂

紙切り

五、みのかも財政事情

講師：美濃加茂市行政企画課

神野 浩明先生

樋口 義盛先生

選挙管理委員会事務局
鷺見 省吾先生

- とても面白かったです。本当にたくさん笑ってスッキリしました。
- 落語を生で見たのは初めてだった

けど、とても面白かったです。
聞いていて全然飽きないし、みたらし団子を食べる場面やそばを食べる場面など話の情景が浮かんできました。

一番感動したのは紙切りです。
その場でお題(エルサ)を出されても瞬時にハサミ一本でしかも

面白い話をしながら切ってしまふところが良かつたです。切りくずではないB面も色が反転していて素敵でした。

落語と紙切りのコラボレーションも想像より一層話にのめり込んでしまいました。死神は夜のシーンや道に迷うシーンなど見入つてしまつて怖かったです。切り絵と合体させると、絵本を読んでいる感じがして良かつたです。

落語と紙切りのコラボレーションも想像より一層話にのめり込んでしまいました。死神は夜のシーンや道に迷うシーンなど見入つてしまつて怖かったです。切り絵と合体させると、絵本を読んでいる感じがして良かつたです。

今日新たに感じたのは落語はジャズと同じであるということです。ジャズでは即興演奏といつてお客様の前で演奏にアドリブを組み込みますが、落語においてもお客様の顔を見て、その日その場その時間にしかできないエンターティナーとお客様とのコミュニケーションが存在するという点で共通していました。今回繰り広げられた二人の落語家との掛け合



定時制のページです。

照明祭

10月31日(金)、11月4日(火)に照明祭を開催しました。第一回目の文化の部は、各クラスの企画発表や一年生の音楽発表と書道展、有志のバンドとダンス、第二回目の体育の部は、球技大会(バレーボール)を行いました。

生徒の感想より

照明祭全体

◆一年生
モザイク・トリックアート



◆大変だったけど、良い作品ができた。最高に良かった。

◆二年生
バカつこ映像動画が今までにない作品で面白かった。クラスみんなが参加していい動画が今まで何回も撮り直した努力を感じる。

三年生

ALONE
in the
Darkness
・プラネットリームは今までにない作品で面



◆三年生
カレーライスの販売での売上金三万九千三百円を、十月十七日(月)に中日新聞社を通じて、一般福祉への寄付をしました。ご協力ありがとうございました。

報告



1年 音楽選択者



中日新聞11.7朝刊 中濃版掲載



4年 書道選択者

四年生

◆劇・食品販売(カレー・ライス)
・カレーがおいしかった。

◆有志バンド・ダンス
・劇が面白かった。

◆ダンスが上手だった。
・先生と一緒に演奏してくれて楽しかった。

白い企画だった。上手にできていたと思う。

◆四年生
カレー・ライスの販売での売上金三万九千三百円を、十月十七日(月)に中日新聞社を通じて、一般福祉への寄付をしました。ご協力ありがとうございました。



マリン体験



守礼の門

修学旅行 -> 沖縄(三年生)
9月10日(水)～12日(金)

ひめゆりの塔などの平和学習や、マリン体験、美ら海水族館などの文化・自然体験などを行いました。生徒たちは修学旅行をとおして、社会性や協調性を身に付けることができたのではないかと思います。

ひめゆりの塔



部活動

バドミントン部

・東海高等学校定時制通信制大会出場(9月7日)

女子ダブルス

一回戦 ● 1 - 2 岩田・松平

男子シングルス

一回戦 ○ 1 - 0 片岡 優希

二回戦 ● 0 - 2 飛驒高山 定

女子シングルス

一回戦 ○ 1 - 0 岩田 結菜

二回戦 ● 0 - 2 華陽 F

岐阜工業

保健講話(6月)

薬物講話(9月)

それぞれ講師をお招きし、性に関する講話と、薬物の危険や依存性、その後の人生についての講話を聞いていただきました。生徒は真剣な表情で話を聞いていました。



保健講話



薬物講話

進路状況

平成26年度(12/5現在)
【就職内定】

・(株)岩井文男美容室
・医療法人社団 明星会
・社会福祉法人 親和会

・(株)フィットハウス
・エムアイ計装システム(株)

・(株)藤村建設
・(有)後藤板金

・名古屋歯科医療専門学校

進学
就職8名
進学1名



生活体験発表大会(7月15日)

斎藤平春幸くん(四年)が本校定時制代表として、「岐阜県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」で発表し、優秀賞に選ばれました。内容は、三月一日発行の「明星かわいい」に掲載します。